



世界に認められた
持続可能な観光地

「丸亀」

Marugame to the world



丸亀探究学習

丸亀市の基本情報	P03
丸亀市へのアクセス	P04
持続可能な観光地「丸亀」の世界的評価	P05
教育旅行3.0時代へ	P06
教育旅行における探究的な学びの5つのポイント	P07
丸亀を知る3つのコース	P08~12
丸亀市の宿泊施設	P13~14
旅マエから始まる丸亀探究学習	P15
旅マエ/アト学習 資料イメージ	P16
メッセージ	P17
参加者の声	P18
お問い合わせ	P19

日本一狭い県「香川県」の中西部に位置し、香川第2の都市！



▶ 丸亀市の基本情報

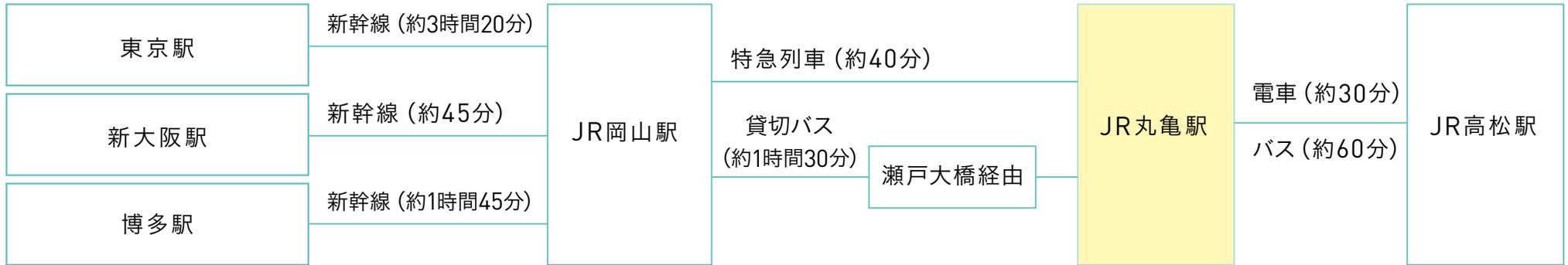
- ① 面積：111.83km²
人口：約11万人（令和7年時点）
- ② 江戸時代から香川の玄関港、
こんぴら参りの始まりの地として栄えた街
- ③ 温暖な瀬戸内の気候でアクセス抜群
- ④ 島、山、歴史、文化、芸術、グルメ、テーマパークなど
観光の要素が盛り沢山の街（コンパクト・シティ）



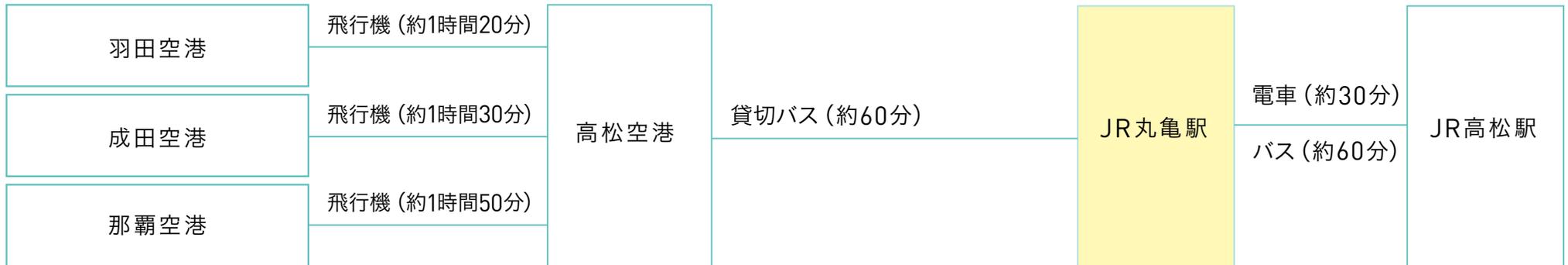
丸亀市へのアクセス（JRまたは飛行機利用）

access

▶ 電車でお越しの方



▶ 飛行機でお越しの方



直行便
infomation



バス
infomation

持続可能な観光地『丸亀』の世界的評価

worldwide reputation

JSTS-D

Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations



・JSTS-Dとは

⇒Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations(日本版持続可能な観光ガイドライン)は、DMO等が持続可能な観光地マネジメントを行うことができるようにGSTC基準を準拠して、観光庁が作成したものです。

⇒丸亀市としても、持続可能な観光地域づくりを推進していくことの証として、2023年にロゴマークを取得しました。

GSTC

Global Sustainable Tourism Council

・GSTCとは

Global Sustainable Tourism Council(グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会)は、2007年に設立された世界的な旅行および観光分野において、持続可能な観光の国際基準を作成し、推進していくための国際非営利組織です。

4つの観点

- ・持続可能なマネジメント
- ・社会経済サステナビリティ
- ・文化的サステナビリティ
- ・環境のサステナビリティ

2023年に丸亀市が 持続可能な観光地として 世界のTOP100に選出!

400年以上続く、丸亀うちわの伝統産業は、産業の縮小や後継者不足など様々な問題を抱えています。

そんな中、後継者育成講座や丸亀うちわニュー・マイスター制度などの後継者創出事業を行いつつ、域内外での実演、販売などをきっかけに丸亀市へ来訪された観光客や丸亀市でうちわづくりを体験した方が「丸亀うちわ」のファンとなり、後継者候補としての移住定住者獲得に繋がっているフローや交流人口の増加、環境に配慮したうちわ製作の取り組みなどが評価され、世界のTOP100に選出されました。



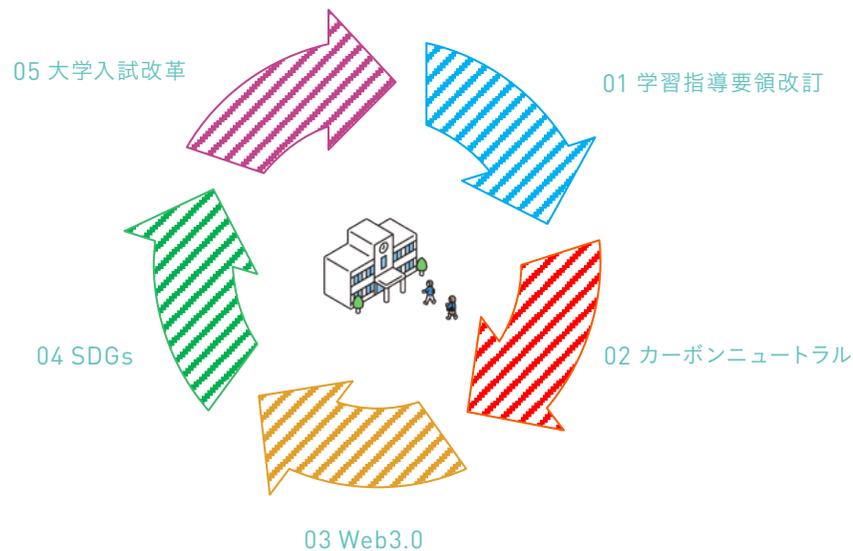
国際認証機関グリーン・デスティネーションズは、GSTCのガイドラインに則って、毎年、世界の持続可能な観光地TOP100を選出しています。6つのカテゴリごとに世界各地から寄せられる様々な優良事例をグッド・プラクティス・ストーリーとして審査し、世界へ発信しています。さらには、GSTCガイドライン内にある84項目の基準を対象に地域全体のクリア率によって、ブロンズ、シルバー、ゴールドなどといった賞を地域に与える「アワード」プログラムも設定されています。

VUCA 「予測困難な」 Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)

これまで何時間もかけて調べていたことや、何日もかけてやりとりしていたことが、スマホの登場によりわずか数分で済むようになりました。こうしたテクノロジーの進化は、世の中の仕組みやルールをめまぐるしく変化させ、社会は「将来の予測が困難な状態」、VUCAの時代に突入しました。同時に、地球規模でWeb3.0が加速している中、ChatGPTはじめ生成AIが世界に衝撃を与え、教育の領域でも文科省が学校教育におけるAIの利用に関して、ガイドラインを発表されました。

予測困難なことが続き、子どもたちに必要なのは、この予測困難な社会をサバイブし、その中で社会をよりよくしていくための経験とスキルです。だからこそ、わたしたちは、子どもたちの可能性を引き出し、経験とスキルを身につけられることが必要な教育旅行3.0時代と位置づけ、教育旅行を通じて探究的な学びができる探究型教育旅行を提供して行きます。

学校生活における取り巻く社会的変化例



教育旅行に必要な要素の変化



教育旅行における探究的な学びの5つのポイント

5 points of learning



社会とのつながり

人や社会、自然との関わりにおいて、社会や自然の一員として自己の在り方生き方を考える



丸亀ならではのテーマ

丸亀ならではの取り組みやすいテーマで課題設定、情報収集などの学習活動を発展的に繰り返していく



地域共創

地域の課題解決策をインタビューやフィードバックなどを通して新たな価値を創造する

5つの学びの観点



Problem-Based Learning 課題解決型学習

問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく探究をより効率的に進める



アクティブラーニング

「主体的・対話的で深い学び」の視点でのアプローチ

丸亀を知る3つのコース

3 courses to get to know Marugame

A コース

SDGs探究コース(半日)

訪問場所：丸亀市/丸亀城/丸亀うちわミュージアム

丸亀市は「世界の持続可能な観光地TOP100」に選ばれ、
伝統文化継承と環境保護を両立する持続可能な観光資源
である丸亀うちわが注目されています



B コース

ローカルビジネス探究コース(半日)

訪問場所：丸亀市内商店街/御菓子司 寶月堂
(株) OIKAZE/中津万象園 ((株) 富士建設)

丸亀エリアで活躍する方々のお話を聞いたり、施設訪問
しながら地域の産業の現状と課題を探ります。



C コース

こんぴらさんと商店街探究コース(半日)

訪問場所：太助灯籠/池商店/こんぴらさん

五人百姓 池商店は、観光地「こんぴらさん」にある老舗
の飴屋です。金刀比羅宮の境内では、「五人百姓」として
名物の「加美代飴」を販売しています。丸亀とこんぴらさ
んの歴史的なつながりをひもときながら、表参道商店街
の活性化と課題について探ります。



丸亀を知る3つのコース 【A】SDGs探究コース

SDGs exploration course

▶ 持続可能な観光地とは何か？

これからの持続可能な地域観光を探究

丸亀市は持続可能な観光地域づくりにおいて高く評価されています。GSTC (Global Sustainable Tourism Council) は、世界的に持続可能な観光を推進する国際基準を定める組織で、この組織に認定されている国際認証機関Green Destinationsが毎年開催する「世界の持続可能な観光地TOP100」において、丸亀市は2023年に選出されました。その中で最も評価されたことが「丸亀うちわ」の伝統を紡ぐ取り組みです。

丸亀うちわは、江戸時代から続く国の伝統的工芸品で、環境に優しい竹や和紙を使った製品です。この伝統工芸は、地元文化や技術を守りながら、観光客にも体験を提供し、地域経済の振興や、廃棄物削減などのエコロジーな取り組みも行われており、持続可能な観光地として国内外から注目されています。これらによって、丸亀市が「世界の持続可能な観光地TOP100」に選ばれる一因となり、地域の観光と文化の発展に大きな役割を果たしています。

モデルコース



探究ポイント！

丸亀市では、環境保護や地域文化の維持を重視したビジネスモデルが展開されています。持続可能な起業の重要性を知り、伝統と持続可能性のバランスを学んでいただきます。

丸亀を知る3つのコース 【B】ローカルビジネス探究コース

Local business exploration course

▶ 今後の新しい働き方は？

働き方2.0探究

地域で活躍するとはどういうことなのか？

- ・丸亀うちわなどの文化継承を行う地域商社の女性起業家
- ・若者の和菓子離れを解決する和菓子屋若手女性経営者
- ・男性中心の建設業界で、建築を通じて地域の課題解決を支援している女性経営者

などの方々からお話を聞いて、伝統と進化のバランスを保ちながら、社会課題を解決する方々の職場に訪問してインタビューやフィールドワーク

モデルコース

09:00-09:30
(30分)

徒歩

丸亀市内商店街



御菓子司 賣月堂の桑田取締役と一緒にフィールドワーク

9:30-10:30
(60分)

徒歩

御菓子司 賣月堂



▼賣月堂



御菓子司 賣月堂の桑田取締役より会社の取組みや地元企業や学校との連携のお話を伺う

10:50-11:50
(60分)

(株)OIKAZEまたは/中津万象園((株)富士建設)



▼(株)OIKAZE



OIKAZEの相原代表から地域商社事業についてお話を伺う



▼中津万象園



文化財(中津万象園)保全の取組みと松葉レモネードのお話を伺う

探究ポイント!

女性起業家または企業人との交流により、身近なロールモデルとして女性リーダーの姿を目にすることで、自分自身の可能性を広げ、起業の多様な側面を視野に、将来のキャリア形成やリーダーシップに向けた視点を広げるきっかけにします。

丸亀を知る3つのコース 【C】 こんぴらさんの歴史と商店街探究コース

Konpirasan history and shopping street exploration course

▶ 丸亀とこんぴらさんの歴史的關係性と商店街のあるべき姿とは？

歴史/商店街探究

「一生に一度は、こんぴらさんへ」とこんぴら参りが盛んになったのは江戸中期以後のこと。丸亀、多度津、高松、阿波、伊予・土佐街道のこんぴら五街道のうち、最も栄えたのが丸亀街道です。当時、自由に旅することを許されていなかった庶民にとって、こんぴらさんを目指す旅は、まさにつかの間の日常から開放される夢の旅……。丸亀街道は、出発点の太助灯籠から琴平の高灯籠までの150丁（約12Km）の道のり。街道沿いのあちこちに建てられた丁石（ちょうせき）や道標には、起点からの距離が記されており、こんぴらさんへと近づく参拝者の万感の思いが秘められています。

そのゴール地点でもあるこんぴらさんの表参道にある『五人百姓 池商店』は、寛元3年（1245年）創業の、約800年続く老舗の飴屋です。

「五人百姓」とは、金刀比羅宮の御祭神にお供し、神事をお手伝いしてきた功績により、境内の大門内で商いを許された5軒の飴屋のことを指します。『五人百姓 池商店』はそのうちの1軒であり、現在は26代目から29代目までの親子4代が、伝統の飴作りを受け継ぎながら歴史を紡いでいます。「リニューアルによって、こんぴらさんの参道に再び笑顔と明るさを取り戻したい」と考え、観光客だけでなく、地元の人々にも愛される店づくりを目指しています。そして、これからも100年先の未来へ向けて歩んでいます。また、新しいロゴは、飴を四国に見立て、4つに割ったデザインを採用しました。この場所から、香川・琴平、そして四国の魅力を発信していきます。

モデルコース

09:00-09:30
(30分)

バス

10:00-11:00
(60分)

徒歩

11:00-13:00
(120分)

太助灯籠



専門ガイドよりこんぴら参り始まりの地と丸亀街道の歴史を解説

こんぴら表参道



五人百姓 池商店 28代目・池代表より、地域とこんぴらさんの歴史や文化、五人百姓としての役割、そして商店街の取り組みについてお話を伺います。

金刀比羅宮



詳しいお話を聞いた視点で金刀比羅宮を参拝歩きながら歴史を紐解く

探究ポイント!

こんぴらさんは、日本に数ある歴史的・文化的な観光地です。長い歴史を持つ「こんぴら参り」を通じ、伝統文化が現代の観光やビジネスとしてどのように活かされるかを学びます。今後の日本の抱える課題の1つでもある商店街のシャッター街問題について本質的に学びます。

丸亀を知る3つのコース A+B+Cモデルコース 1泊2日ver

A+B+C model course 1 night 2 days version

伝統工芸「丸亀うちわ」をテーマにした2日間の探究型フィールドワーク
「丸亀うちわ探究 ～伝統と持続可能な未来を学ぶ～」

香川県丸亀市を舞台に、伝統工芸「丸亀うちわ」の歴史や技術、持続可能な地域づくりについて探究します。

丸亀市で地域の基本情報や観光地マネジメントについて学び、丸亀市が目指す持続可能な観光都市像を理解します。丸亀城では、歴史と文化の象徴に触れ、城下町としての丸亀の背景を探り、丸亀うちわの工房では職人技や新しい伝統技術を体感。ポリうちわ工場で大量生産の現場を見学し、伝統工芸と現代技術の融合を学び、丸亀街道を通じてこんぴらさんでは、歴史と文化が共存する地域資源の魅力と課題を体感します。

2日間モデルコース



探究ポイント!

身近な「うちわ」を探究テーマにしたフィールドワークを通じて、「伝統工芸の継承の重要性」「地域資源の活用」「持続可能なまちづくり」について、魅力と課題を深掘りしながら、自分たちの視点から地域課題の解決策を考える機会になります。

大江戸温泉物語 ホテルレオマの森



おすすめポイント

① 中四国最大級のテーマパーク「NEWレオマワールド」に併設され、夜まで存分にお楽しみいただけます。

※ 閉園時間は時期により異なります。詳細はレオマリゾート公式HPにて確認ください。

② 駐車場も多く、季節ごとにシェフがこだわった料理ばかりのバイキング（一般・学生）、温泉（露天風呂）もあります。

SDGSポイント!

レオマリゾートでは、ホテル・バイキング会場の料理を調理する過程の中で出る廃棄食材を堆肥化し、バラ園やエディブルガーデンなど園内の植栽に使用。また、エディブルガーデンで採れた野菜をパーク内の直営レストランで提供することで食品の資源循環サイクルに取り組んでいます。



住所	香川県丸亀市綾歌町栗熊西40-1		
TEL/FAX	050-3665-1715 (旅行事業者用) / 0288-76-8639	URL	https://reomanomori.oedoonsen.jp/
収容人数	1,159名 ※団体受け入れは要相談	エレベーター	利用：3基 ※原則学生利用不可
客室数	5名定員和室108室、4名定員洋室89室、その他44室		
学校受入可能人数/方式	原則 1日200名 (少人数の場合、複数校可)	最寄駅	琴電岡田駅～車で5分
入浴について	大浴場：有 学生利用：可 (時間貸切不可) 一度に対応可能人数：100名	浴槽の数	各男女大浴場：5
		シャワー数	各男女15個
レクリエーション等会場	要相談	水筒補給	なし (ペットボトル飲料の持込可)
食事会場 (回転数)	バイキング (学生団体)、約300名対応可 (3回転以上必要)、きざみ食対応不可 ※一般は現地要確認		
アメニティ	ボディソープ・シャンプー・コンディショナー・歯ブラシ・ドライヤー・湯茶器セットなど ※詳細は現地要確認		
ルームキー	シリンダーキー (オートロック)	ビデオカット	地上波のみ
教職員へのマスターキー貸出	不可 (予備キーでの対応)	室内電話カット	外線なし・内線カット可
冷蔵庫	利用可能 (中身は空)	館内放送	不可
自動販売機	6～11階各客室フロア、5階自販機コーナー	販売停止可否	不可
貴重品の管理方法/貴重品袋の有無	フロント預け可	大型バスの乗降場所/駐車場	エントランス前/車290台、バス4台 (4台以上も対応可、要相談)
バリアフリー	多目的トイレ4階、5階森の湯内 車椅子対応客室：なし	緊急連絡先	丸亀警察署、丸亀消防本部、中讃保健福祉事務所、滝宮総合病院
緊急時避難場所	屋外第一駐車場		
備考	ツアーデスク設置要相談、フロア貸切原則不可 (場合により応相談)、売店あり		



和室客室 (一例)



洋室客室 (一例)



食事会場 (一例)



露天風呂

オークラホテル丸亀



おすすめポイント

①瀬戸内のオーシャンビューの客室、展望風呂からの瀬戸内海パノラマでゆっくり寛げる。

②駐車場も充実しており、お食事は人数に応じてセットメニューまたはビュッフェスタイルでご提供可能です。ホテル向かいには多世代交流スペースを備えたナイターボートレース場があります。

SDGSポイント!

オークラホテル丸亀では、プラスチックごみ削減の一環として、バイオマス素材を配合した歯ブラシなどのアメニティの提供や、常備アイテムの絞り込みなどを行っています。



住所	香川県丸亀市富士見町三丁目3番50号		
TEL/FAX	0877-23-2222 / 0877-23-8595	URL	https://www.okurahotel.co.jp/
収容人数	506名	エレベーター	利用：可（3基）
客室数	SGL97室 / TWN152室 ※3名以上利用の場合、TWNの部屋にエキストラベッドで40室利用可能		
学校受入可能人数/方式	200名（少人数の場合、複数校可）	最寄駅	丸亀駅～車で5分
入浴について	大浴場：有 学生利用：不可 一度に対応可能人数：男女各18名	浴槽の数	大浴場：1つ 各部屋：ユニットバス
		シャワー数	各男女14個
レクリエーション等会場	レクリエーションの受付は現在休止中です	水筒補給	現在休止中 (有料でペットボトルのお茶など用意可能)
食事会場（回転数）	100名以下はセットメニュー形式 / 100名以上はバイキング形式、200～250名対応可（一回転）、アレルギーやきざみ食対応も可能 ※一般団体は現地要確認		
アメニティー	ボディソープ・リンスインシャンプー・歯ブラシ・バスタオル・フェイスタオル・ドライヤー・スリッパ・浴衣・湯茶器セット		
ルームキー	カードキー（オートロック）	ビデオカット	有用放送なし
教職員へのマスターキー貸出	不可	室内電話カット	外のみカット可
冷蔵庫	利用可能（中身は空）	館内放送	可能
自動販売機	3階～11階ソフトドリンク、3階アルコールあり	販売停止可否	不可
貴重品の管理方法 / 貴重品袋の有無	まとめてフロント預け可能	大型バスの乗降場所 / 駐車場	エントランス前 / 車300台、バス5台
バリアフリー	1階のみ車いす対応トイレあり、EVIは1基対応あり、車椅子対応客室：なし	緊急連絡先	丸亀警察署、丸亀消防本部、 中讃保健福祉事務所、香川労災病院
緊急時避難場所	屋外駐車場		
備考	ツアーデスク設置可能、フロア貸切原則不可（場合により応相談）、売店あり		



広々としたロビー



TWN客室（一例）



食事会場（一例）



展望浴場

※学生利用不可

旅マエから始まる丸亀探究学習

Marugame exploration learning begins before the trip

探究における生徒の学習の姿 4つのプロセス

課題設定

日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つける

情報収集

具体的な問題について情報を収集する

整理分析

情報を整理・分析したり、知識や技能に結びつけたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組む

まとめ表現

明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見つけ、更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく

探究の4つのプロセスを教育旅行に置き換えると

課題設定

旅マエ

旅ナカ

旅アト

オンラインで丸亀の歴史や文化を知り、住んでいるまちと比較しながら、疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つける機会になります

情報収集

旅マエ

旅ナカ

旅アト

その見つけた課題や具体的な問題についてネットや書籍、オンラインインタビュー、フィールドワークなどで情報を収集する

整理分析

旅マエ

旅ナカ

旅アト

情報を整理・分析したり、知識や技能に結びつけたり、チームで考えを出し合ったり、地域の方にフィードバックをもらいながら問題の解決の思考を深める

まとめ表現

旅マエ

旅ナカ

旅アト

明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、第三者からのフィードバックからまた新たな課題を見つけ、更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。

参考：文部科学省「総合的な探究の時間編」

丸亀探究ワークシートイメージ



授業スライドイメージ



丸亀事前事後学習のイメージ (6回の場合)

全6回プラン (1コマ50分授業)	
回	内容
01	◆丸亀市の歴史や文化の基本情報から新しい取り組みまでオンラインでご紹介します。
02	◆丸亀の魅力と地域課題をリサーチ&クエスチョン 自分の住んでいる地域と比較しながら調査し、問いを見つけます。
03	◆PBLで探究テーマ創出 丸亀の地域課題をもとに5名程度のチーム作り、地域に提案するプレゼンテーマを設定します。
04	◆仮説を立てる 設定した丸亀の課題を解決する検証計画を立てます。
05	◆プレゼンテーション作成 現状分析・課題解決のための仮説・提案内容を軸に完成して行きます。 丸亀探究型フィールドワーク実施
06	◆プレゼンテーション プレゼンテーション大会開催 (丸亀の産官学連携したゲストの招待をサポートいたします)

関連事業者との連携

collaboration with related businesses

▼丸亀市



▼株式会社OIKAZE



▼香川県うちわ協同組合連合会/丸亀うちわミュージアム



丸亀うちわミュージアム
MARUGAME UCHIWA MUSEUM

▼ナスタウン

NICETOWN

▼中津万象園・丸亀美術館



▼御菓子司寶月堂



▼レオマリゾート



▼オークラホテル丸亀



▼一般財団法人丸亀市観光協会



参加者の声

participants' comments



来年の文化祭では自分たちがデザインしたうちわを展示できたら面白そう

想像以上に難しかった!

普段使っているうちわが丸亀で作られているのは知らなかった

檜原村の竹プロジェクト(校内のプロジェクト、詳細は不明)で竹には縁があるから、何かコラボできたら面白そう

職人さんの仕事に向き合う姿勢がカッコよかった

今度は白紙の和紙に自分でデザインしたい

なぜ丸亀でうちわが盛んに作られるようになったのか、職人さんから話を聞くことでより理解が深まった

帰宿後の夕食時に「うちわ作ってきた!楽しかった!」と食事会場で自作のうちわを披露する生徒たちの様子もあった

お問い合わせ

丸亀探究プログラム窓口：丸亀市連携先 株式会社TOKYO EDUCATION LAB



連絡先



kanai@tokyo-education-lab.co.jp

080-7248-8889

<https://tokyo-education-lab.co.jp/>